

初のモンゴル出身！武蔵丸以来68人目

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

1月29日水曜日2003年(平成15年)
PM 3:30

横綱朝青龍



横綱昇進を伝えた使者に
口上を述べる朝青龍関と
高砂親方(共同)

◆朝青龍の父、ドルゴルステンさんの話 すごくうれしい。高砂親方や部屋のほかのお相撲さんのおかげ。(口上は)よかった。今は感動して言葉が出ない。貴乃花が引退して寂しいが、息子はあの横綱から学ぶことが多かったと思う。

◆高砂親方(元大関朝潮)の話 夢がない、じーんときた。横綱の弟子を持った師匠として何をしていくべきか、考えていきたい。朝青龍という少年と知り合い、番付を駆け上がってくれたことに喜びを感じる。師弟でさらに頑張らなければという責任を感じた。

◆朝青龍の話 実感はまだないが、うれしい。口上は親方と相談して、けさもちょっと練習した。大変な時期に上がったと思う。責任も重くなり、これからもしっかり勉強していきたい。ファンのためにもっと言われる相撲を取りたい。

高砂部屋で祝福される朝青龍関(前列中央) 下タイを掲げ笑顔を见せる朝青龍関。後方左はタミル夫人、右は母ブルバタムさん(共同)

横綱昇進伝達式の後、若い力士に担がれ祝福を受ける朝青龍関。左から父ドルゴルステンさん、タミル夫人(共同)

口上で「相撲道発展のために一生懸命頑張る」



以来。協会はその後、東京都墨田区の高砂部屋に伊勢ノ海理事(元関脇藤ノ川)と谷川親方(元前頭白田山)を派遣し、朝青龍に昇進を伝達した。紋付き羽織はかまの正装で使者を迎えた朝青龍は「謹んでお受けいたします。一層けいこに精進し、横綱として相撲道発展のために一生懸命頑張ります」と口上を述べた。



ファンに祝い酒を振る舞う朝青龍関=東京都墨田区の高砂部屋(共同)

日本相撲協会は29日午前、東京・両国国技館で大相撲春場所(3月9日初日・大阪府立体育会館)の番付編成会議と理事会を開き、大関朝青龍(22歳高砂)の横綱昇進を正式に決めた。
横綱誕生は99年夏場所後の武蔵丸以来で68人目。モンゴル出身では初の横綱で、外国出身では曙、武蔵丸に次ぎ3人目。春場所は東西とも外国出身横綱となる。高砂部屋からは59年春場所後の朝夕(のちの朝潮)

